

NEWS LETTER

横浜災害ボランティアネットワーク会議



編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター8階

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会内

TEL045-201-8620 FAX045-201-1620

H P : <http://www.yokohama-saigai-vol-net.jp/archives/>

E-mail: saivol@yokohama-saigai-vol-net.jp



2019年2月発行 No.62

報

告

市災害ボランティア支援センター運営に向けて

横浜市で災害が発生した場合、横浜市からの要請により横浜市災害ボランティア支援センター（※）が立ち上がる予定です。日頃より市域で活動している本会議の団体会員が、災害時にセンターの運営にどのようなことで関わることが出来ることかを話し合う場として、第1回市域連絡会を開催しました。

【日 程】平成30年11月12日（月）

18：30～20：30

【参加者】22名

（市域団体11名、区災害ボランティアネットワーク団体5名、市民活動支援センター1名、横浜市2名、事務局3名）

【内 容】

◆西日本豪雨災害社会福祉協議会職員応援派遣報告

◆意見交換

テーマ：「横浜市災害ボランティア支援センターに関われそうなこと」

○意見（抜粋）

- ・災害時には横浜市外国人震災時情報センターを立ち上げる事となっている。そのため、通訳の専門ボランティアの調整が一番多いと思うが、地域防災拠点に外国人が避難している場合には協力したい。
- ・障害のある方が何を必要としているか、ということ当事者の立場から伝えられると思う。
- ・災害時に正確な情報を届けるお手伝いとして、情報収集と発信で協力できればよい。
- ・インターネット上の広報が得意なので、ホームページの作成やFAQ作成などの協力ができるのではないか。
- ・施設利用者の安否確認が最優先だが、体制を整えれば協力できるかもしれない。

（※）各区災害ボランティアセンターを支援するセンターとしての機能。市内の被災状況の収集、各区のボランティアニーズ等の状況を把握、市内及び市外へ情報発信等。横浜市健康福祉総合センターに立ち上がる予定。



活動紹介



会員活動報告

平成 30 年 7 月豪雨災害支援への取組と会員団体の活動を紹介します。

認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワークの 7 月豪雨災害支援（倉敷市真備町）

かながわ災害ボランティアバスチーム、かながわ福島応援プロジェクト (kfp) 等の協力を得て、8/3 出発の第 1 便から 9/14 出発の第 6 便までボランティアバスを運行し、合計 241 名のボランティアが倉敷市真備町で活動しました。猛暑や、次々来襲する台風の中、全便事故無く活動できたことは、ご支援、ご協力いただいた皆様のおかげと感謝しています。

現地では、床下の泥だし、家具の運び出し、溶けてしまった土壁の泥落としなど様々な作業をしました。

今回お世話になった、倉敷市の災害ボランティアセンター（倉敷災害 VC）で多くのボランティアを受け入れるために行われていた様々なことは、横浜での受援力向上のために役立つのではないかと思います。

(1) ホームページ上での活発な情報発信 (2) ボランティア受付システムとしてスマホアプリ Peatix (ピーティックス) の活用 (3) 大型駐車場の用意 (4) 最寄りの新幹線駅と倉敷災害 VC 間、倉敷災害 VC とサテライト間のボランティア輸送に、大型シャトルバスを運行 などにより、最盛期には 1 日 2,000 人のボランティアをスムーズに受け入れていました。



清掃作業



「頑張ろう」の幕を囲んで集合写真



壁土落とし

横浜が激甚災害に見舞われ、災害 VC を大規模運用することになった時のことを考えると、参考になることばかりでした。今後活かせれば、と思います。

保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク

9 月 2 日保土ヶ谷公園にて横浜市防災訓練が行われました。

保土ヶ谷災害ボランティアネットワークでは、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を担当し東日本大震災等の写真を展示しました。当日朝は、豪雨に襲われ一部のイベントが中止されましたが、その後天候が回復し無事開催されました。

立ち上げ訓練ブースは体育館に置かれ、横浜災ボラ C ブロック（瀬谷区／泉区／旭区）にボランティア役として参加頂き、ボランティア受け入れマニュアル手順



パネル展示の様子

を確認しました。

また、横浜市長や医師会の方々などもブースに訪れ、災害ボランティアネットワークの活動や役割を案内説明しました。

その他体育館には、段ボールで区切られた避難所体験エリアや過去の災害パネル展示もあり、訪れた方々は、津波・河川氾濫等の災害写真に興味を引いていました。体育館外ではペット避難訓練も行われていました。



災ボラセンター受付の設置

報

告

区災害ボランティアブロック会議

9月28日 Aブロック会議報告

中区福祉保健活動拠点にて、今年度第1回目のAブロック会議を開催しました。

今回は、「平成30年7月豪雨災害 被災地派遣について」をテーマとして、保土ヶ谷区社会福祉協議会の吉寄事務局次長、西区社会福祉協議会の樋口事務局次長より、広島県三原市災害ボランティアセンターでの取組についてご報告いただきました。

災害ボランティアセンターでのマッチングの流れやニーズの掘り起こし、効果的な情報発信の重要性等についてお話があり、質疑応答や意見交換も活発に行われました。

今後も、災害ボランティアセンターのより良い運営方法や、ブロック内での連携について、引き続き検討・意見交換を重ねていきます。

義援金募金活動報告

9月6日に発生した北海道胆振東部地震の被災地への義援金募金活動に協力しました。

日時：平成30年10月15日（月）
11時～13時

場所：桜木町駅前広場

主催：中区ボランティア連絡会
中区社会福祉協議会
市福祉ボランティア・市民活動部会

参加者数：32人

募金額：75,041円

たくさんの方からいただいた募金は、北海道共同募金会に送金され、被災地の方々に届けられます。

西日本豪雨災害
被災地職員応援派遣報告

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会では、平成30年7月の豪雨災害の被災都市の災害ボランティアセンターに職員を応援派遣しました。地元社協と協力し、浸水や土砂による被害から生活の場に戻れるよう、地域から寄せられるニーズに対し、全国から集まるボランティアや支援物資などをつなげるサポートに取組みました。

派遣先：広島県三原市・呉市

期間：平成30年7月31日～10月10日

派遣人数：20人

応援内容：①ボランティア受付班

②ニーズ受付班

③ニーズ調査班

（ニーズ掘り起こし）等

会費納入のお願い

横浜災害ボランティアネットワーク会議
会員の皆様

平成30年度の会費をお支払いいただいていない会員（団体・個人）の皆様は3月末までにお支払くださいますようお願いいたします。

次頁でお知らせしている3月9日（土）実施の合同訓練参加時にお支払いただくか、振込をお願いいたします。

なお、再納付依頼をさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。



私達と一緒に取り組みませんか **会員募集中**
「いざ」に備えて顔の見えるネットワークづくりにご参加ください！

周

知

合同運営訓練のおしらせと研修会報告

【市・区災害ボランティアセンター運営訓練】

災害ボランティアセンター運営経験者に学ぶ

今年度は図上訓練にかわり、西日本豪雨災害で実際に災害ボランティアセンターの運営支援を行った団体からの報告をふまえ、横浜で発災した時の市・区災害ボランティアセンターの運営対応で必要なこと、課題となることを話し合います。

日時：平成31年3月9日（土）13時00分～16時00分予定（受付12時30分）

場所：横浜市健康福祉総合センター 8階 8AB会議室

対象：市・区災害ボランティアネットワーク会員

ゲストスピーカー：一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

申込方法：事前申込。3月5日（火）までに、団体は参加者を取りまとめのうえ、個人の方は氏名をEメールまたはFAXで事務局にお申込みください。

【災害ボランティアコーディネータースキルアップ講座報告】

～西日本豪雨災害に学ぶ～

災害時のネットワーク連携について

日時：平成31年1月23日（水）18時30分～20時30分

場所：横浜市健康福祉総合センター 8階 8AB会議室

対象：市内で災害ボランティア活動に関わる方や関心のある方

講師：石原 達也氏（NPO法人岡山NPOセンター）

参加者：88名（会員・行政職員・災害ボランティア活動に関心のある方）

内容：当日は、講師から岡山の被災状況をはじめ、「災害支援ネットワークおかやま会議」の立上げなど、ご自身の想いも含めて丁寧に説明していただきました。ネットワークには160以上の様々な分野の団体がfacebookでつながり、情報を共有し、必要な支援を発信して、即支援につなげたという話をわかりやすく教えていただきました。さらに、発災直後から「ももたろう基金」を立上げ、寄付を募った経過、しくみ、集まった寄付の活かし方など参考になる話ばかりでした。

最後に「団体同士の連携は柔らかくつながること」、「普段からのお付き合いが大切」という話の締めくくり、参加者からも現実の話として受け止めた、実際の話が聞けて良かった、最後はやはり人づきあいが大切との声が多数ありました。